



常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算

総務管理費について

補正後の職員数11名減の理由は、また、県や国と比較して人口当たりの職員数が少ないが定員管理の考えは、

11名減については、当初予算で余裕を持って積算し、編成後の退職が要因。定員管理については、時間外勤務が人口増による業務の増加等により増加傾向にあることを踏まえ、定員適正化計画に則り今後の業務量等を見て進めて行く。

企画費について

シティプロモーション事業として、宇宙桜の植樹費用が計上された。これが基本方針に掲げ

る市のシティプロモーションか。新たな観光資源として期待され、地域の愛着心の向上に繋がると考えている。シティプロモーションは、様々な分野の事業が関連するので、今後、既存の各事業を紐づける必要がある。情報管理費について

ふるさと納税システムの改修は、業者が異なっても対応できるのか。

全国的なシステムは、機種やソフトウェアについて統一されているため、対応できる。不動産売却収入について

土地交換差金の面積・単価は、市からイオンタウンに払い下げる部分が、面積1653・61㎡、単価10万円/㎡。イオンタウンから市へ寄付される部分は、面積635・16㎡、単価13・9万円/㎡。不動産鑑定はイオンタウン側で実施している。

賛成全員で可決

◆水道事業会計補正

路面復旧費の原因と箇所は、県道川藤野田線での給水管漏水工事。舗装が厚く復旧工事に多額の費用を有するため。

賛成全員で可決

◆議員報酬等に関する条例を改正する条例について

議員報酬はどのように決めて

いるのか。H23年度からの市民所得の推移を比較した資料などを提示し、特別職等報酬審議会に諮問し、妥当であるとの答申を受け上程している。

賛成多数で可決

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

送迎保育事業について、バスの買い替えをいつ頃行うのか。また送迎保育事業のニーズはどの程度あるのか。

車両の状態を確認しつつ、買い替え時期について検討していく。利用者数について、美南地区に保育所が増えた関係で、一時期減少傾向にあったものの、今年度は昨年度と比較して増加している。本年7月末現在で、延べ1210人利用している。

賛成全員で可決

認定こども園施設整備事業補助金について、学校法人ワタナベ学園が運営する認定こども園に対する補助金と認識しているが、概要について聞きたい。

学校法人ワタナベ学園が整備する保育所型認定こども園は、保一丁目で運営し定員135人。生活保護費の扶助費が3000万円の補正だが今年の特徴は、対前年度102・5%の微増。

賛成全員で可決

8月末現在497世帯、668人となっている。特に大きな変化はない。補正の対象は医療扶助であり、手術など大きな金額が発生したためである。

病児病後児保育事業の利用者数と職員の配置状況について、どの様に確認しているか。

平成29年度で延べ237名、平成30年度7月末時点で延べ129名、職員は看護師1名、保育士2名、確認方法は職員が事務手続き等で訪問した際に確認している。抜き打ちで検査したことはない。

小中学校空調設備整備事業で国からの補助額約1億5千万円の内示が出たが、リース後に買い取る条件が、今回の補助対象であると認識してよいか。リース後に買い取ることが補助対象である。

買い取りを前提として契約が必要であるが、実現性はあるか。仕様書に条件を示し、契約後調整するものと考え。かなりのところで同じような事業が行われるが、入札の見通しはどうか。

賛成全員で可決

10社以上の指名競争入札であり、準備を進めているところである。

建設生活常任委員会

◆墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部を改正する条例

改正のポイント。県から権限移譲されてから20年近い年月が経過し、事業型墓地の進出や社会情勢の変化に対応して経営許可基準の見直しが必要

必要な事から改正する。経営者の基準については、公益法人の規定を削除し、宗教法人にあっては、市内に事務所を有する期間を5年以上とし、現に宗教活動を行なっている実態があるものとした。

設置場所の基準については、公園、学校や住宅などから100メートル以上離れることを原則適用とし、既存墓地を除外とした。施設の基準については、周辺環境との調和を図るため、敷地境界への緑地帯の設置、敷地面積の20%以上の緑地を設置すること、敷地内に駐車場の確保を義務づける。既存墓地の拡張については、規則で緩和する。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

交通安全対策費

道路照明灯整備事業の需用費、光熱費は電気料の単価の引き上げによるものか。

燃料費調整単価や再生可能エネルギー発電促進賦課金の上昇などが影響している。電気使用料の算定上、一概には言えないが平成29年度と平成30年度における電気料金を使用電力で割った場合の単価を比べると、上昇している。

環境センター費

施設修繕は漏水が原因であると聞いているが内容は水道メーター検針を実施した

ところ、漏水の事実をつかんだもので、原因は、老朽化によるものと考えている。外灯のLED化の影響は。LED化の前は、年間4千万円以上の電気使用料を支出していた。平成27年にLED照明灯を導入したことにより電気料金は大幅に下がったが、近年は燃料調整費などの上昇により電気料金が上がっている。

賛成全員で可決

◆生活道路改修に関する請願 請願については、慎重に審査されました。(2頁参照)

ホームページ ぜひ、ご覧ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会

検索

